



第6回仙台国際音楽コンクール 概要資料

開催日程

ヴァイオリン部門： 2016年5月21日～6月5日

ピアノ部門： 2016年6月11日～6月26日

会場：日立システムズホール仙台
(仙台市青年文化センター)

仙台国際音楽コンクールとは

「仙台国際音楽コンクール」は、仙台市が開府四百年を記念して2001年に創設、その後3年ごとに開催しているコンクールです。

才能ある若い音楽家を輩出することにより、世界の音楽文化の振興及び国際的文化交流の推進に寄与することを目的とし、ヴァイオリン部門とピアノ部門の2部門からなります。コンチェルト(協奏曲)を課題曲の中心に据えるという特色を持ち、若い音楽家がオーケストラと共演する演奏が審査されます。

審査委員には、演奏家として活躍し、教育者としても著名な音楽家の皆様にご就任いただき、厳正・厳格な審査が行われています。また、2005年より「国際音楽コンクール世界連盟」にも加盟しており、その規約に則った公正で信頼性の高い運営で評価をいただいております。

コンクールは、書類とDVD等の動画による予備審査、そして仙台で行われる予選、セミファイナル、ファイナルという構成になっております。

予選は、ヴァイオリン部門では独奏と室内アンサンブルとの共演で、ピアノ部門では独奏で、セミファイナル以降は両部門ともオーケストラ(仙台フィルハーモニー管弦楽団)との共演による演奏が審査されます。予選以降は全て公開で行われ、第5回コンクールには約9,000人という観客が来場し、才能あふれる若い音楽家たちの熱演を楽しみ、彼らに温かい拍手を贈りました。

また、多くの市民ボランティアによる運営サポートもこのコンクールの特徴の一つです。ボランティアは会場で受付、ご案内を担当する「会場運営サポート部門」、出場者の通訳やアテンド、出場者が日本文化に触れながら、市民との交流をする場となる“交流サロン”を運営する「出場者サポート部門」、コンクール開催周知ならびに出場者に仙台を紹介する印刷物等を作成する「広報宣伝サポート部門」、そしてコンクール出場後に仙台に滞在する出場者を家庭に受け入れる「ホームステイ受け入れ部門」の4部門で構成されております。彼らによる温かいおもてなしは、出場者だけでなく審査委員からも好評をいただいております。仙台国際音楽コンクールの大きな柱となっております。

コンクール開催期間中の仙台市内では、次のラウンドに進めなかった出場者が各所で演奏する「チャレンジャーズ・ライブ」や、小中学校を訪問し演奏する「学校訪問ミニ・コンサート」、市民ボランティアが企画したコンサートが数多く実施されるほか、審査委員を講師に迎えての「審査委員によるマスタークラス」など関連の企画も多数展開され、多くの市民がクラシック音楽を楽しみ、また、世界レベルの音楽家と交流を図る機会ともなっております。



第6回仙台国際音楽コンクールでは

- ◆ヴァイオリン部門審査委員長に堀米ゆず子氏が就任しました。
- ◆両部門ともファイナルラウンドの審査は3日間となり、ファイナリストは2曲の協奏曲を演奏します。
- ◆第1回ヴァイオリン部門優勝者ホアン・モンラ氏が審査委員に就任しました。
- ◆オーケストラの指揮は、ヴァイオリン部門は広上淳一氏が、ピアノ部門はパスカル・ヴェロ氏が担当します。
- ◆ヴァイオリン部門予選の室内アンサンブル(指揮者無し)は、仙台フィルハーモニー管弦楽団と山形交響楽団メンバーが担当します。

■第6回仙台国際音楽コンクール開催概要

名 称	第6回仙台国際音楽コンクール 6 th Sendai International Music Competition < 略称:SIMC >
開催部門	ヴァイオリン部門 / ピアノ部門
開催期間	2016年5月21日(土)～6月26日(日)
会 場	日立システムズホール仙台(仙台市青年文化センター) 宮城県仙台市青葉区旭ヶ丘3-27-5
出場資格	1988年1月1日以降に出生した者(国籍不問)
申込締切	2015年11月16日(消印有効)
賞	1位賞金 300万円 ほか ・CD制作 ・仙台フィルハーモニー管弦楽団又は日本の代表的なオーケストラとの共演 ・リサイタル出演
運営委員長	海老澤 敏(尚美学園大学大学院名誉教授)
審査委員長	堀米 ゆず子(ヴァイオリン部門) / 野島 稔(ピアノ部門)
オーケストラ	ヴァイオリン部門予選: 仙台フィルハーモニー管弦楽団と山形交響楽団による室内アンサンブル
	両部門セミファイナル、ファイナル: 仙台フィルハーモニー管弦楽団
指揮	ヴァイオリン部門: 広上 淳一(京都市交響楽団常任指揮者兼ミュージック・アドバイザー) ピアノ部門: パスカル・ヴェロ(仙台フィルハーモニー管弦楽団常任指揮者)
主 催	仙台国際音楽コンクール組織委員会(会長:奥山恵美子 仙台市長) 仙台市 公益財団法人仙台市市民文化事業団

■スケジュール

- ・申込締切 2015年11月16日(当日消印有効)
- ・予備審査 2016年1月
- ・チケット発売 2016年2月12日
- ・予備審査結果 2016年2月15日までに発送

平成28年 (2016年)	審査等	公式行事・関連事業
ヴァイオリン部門 <5/19(木)～6/5(日) 18日間>		
5月21日(土)	予選1日目 12:30～	
5月22日(日)	予選2日目 12:30～	
5月23日(月)	予選3日目 10:00～	結果発表、フィードバック・セッション
5月25日(水)		学校訪問ミニ・コンサート(市内2校予定)
5月26日(木)		チャレンジャーズ・ライブ(日立システムズホール仙台) 19:00～
5月27日(金)	セミファイナル1日目 18:00～	
5月28日(土)	セミファイナル2日目 14:00～	
5月29日(日)	セミファイナル3日目 14:00～	結果発表
5月30日(月)		審査委員によるマスタークラス 13:00～20:10
5月31日(火)		審査委員によるマスタークラス 13:00～20:10 学校訪問ミニ・コンサート(市内2校予定)
6月1日(水)		チャレンジャーズ・ライブ(せんだいメディアテーク) 19:00～
6月2日(木)	ファイナル1日目 18:30～	
6月3日(金)	ファイナル2日目 18:30～	
6月4日(土)	ファイナル3日目 15:00～	表彰式、記者会見
6月5日(日)	入賞者記念ガラコンサート 14:00～	さよならパーティー
ピアノ部門 <6/9(木)～6/26(日) 18日間>		
6月11日(土)	予選1日目 10:00～	
6月12日(日)	予選2日目 10:00～	
6月13日(月)	予選3日目 10:00～	結果発表、フィードバック・セッション
6月15日(水)		学校訪問ミニ・コンサート(市内2校予定)
6月16日(木)		チャレンジャーズ・ライブ(せんだいメディアテーク) 19:00～
6月17日(金)	セミファイナル1日目 18:00～	
6月18日(土)	セミファイナル2日目 14:00～	
6月19日(日)	セミファイナル3日目 14:00～	結果発表
6月20日(月)		審査委員によるマスタークラス 11:00～20:40
6月21日(火)		審査委員によるマスタークラス 13:00～20:10 学校訪問ミニ・コンサート(市内2校予定)
6月22日(水)		チャレンジャーズ・ライブ(日立システムズホール仙台) 19:00～
6月23日(木)	ファイナル1日目 18:30～	
6月24日(金)	ファイナル2日目 18:30～	
6月25日(土)	ファイナル3日目 15:00～	表彰式、記者会見
6月26日(日)	入賞者記念ガラコンサート 14:00～	さよならパーティー

第6回仙台国際音楽コンクール審査委員【ヴァイオリン部門】



堀米 ゆず子 HORIGOME Yuzuko /審査委員長【日本】

ブリュッセル王立音楽院教授。日本を代表する国際的ヴァイオリニストの一人。ベルリン・フィル、ロンドン響、シカゴ響、アバド、小澤征爾、ラトルなど世界一流のオーケストラ、指揮者との共演を重ねている。世界中の音楽祭にも招かれ、室内楽や「J.S.バッハ/ブラームスプロジェクト」などの演奏会企画にも熱心に取り組んでいる。



堀 正文 HORI Masafumi /審査副委員長(新規委嘱)【日本】

NHK交響楽団名誉コンサートマスター。桐朋学園大学教授。オーケストラでの重責を果たすと同時に、数多くのソロ・リサイタルや室内楽に幅広く活躍している。大学では後進の指導にあたり、国際コンクールで審査委員を務めるなど、日本クラシック界を代表するヴァイオリニストとして精力的な活動を繰り広げている。



ロドニー・フレンド Rodney FRIEND /審査副委員長(新規委嘱)【イギリス】

傑出した英国生まれのヴァイオリニスト。ソリスト、室内楽奏者、コンサートマスター、音楽監督そして教育者として、世界中で偉大な音楽家達と共演。バレンボイム、メータ等、多くの一流指揮者と仕事をこなしてきたコンサートマスターとしての活躍は伝説となっており、数多くのレコーディングや著書も高い評価を得ている。



ボリス・ベルキン Boris BELKIN (新規委嘱)【ベルギー】

幼い頃から才能を発揮し7歳でコンドラシンと共演デビュー。モスクワ音楽院中央音楽学校を経て、西欧に移住後、世界的な演奏活動を展開。ベルリン・フィル、ボストン響、デュトワ、小澤征爾、ラトル等、世界の主要オーケストラ、一流指揮者と共演を重ねている。録音も数多く、マイスキー等と室内楽にも熱心に取り組んでいる。



マウリシオ・フックス Mauricio FUKS (新規委嘱)【カナダ】

インディアナ大学ジェイコブス音楽院教授。1964年ヤング・コンサート・アーティスト国際オーディション優勝。コンサートマスター、室内楽奏者、ソリストとして国際的なキャリアを積み重ね、現在は教育活動に力を注ぐ。今日、最も優れたヴァイオリン指導者の1人と見なされており、世界各地でマスタークラスを開催している。



ホアン・モンラ HUANG Mengla (新規委嘱)【中国】

第1回仙台国際音楽コンクール優勝。翌2002年バガニーニ国際ヴァイオリン・コンクール優勝。ネーメ・ヤルヴィ、ジョナサン・ノットなど著名な指揮者、シュトゥットガルト放送響、N響を始めとした多くのオーケストラと共演。2005年にはドイツ・グラモフォンよりCDデビュー。現在は上海音楽学院教授として後進の指導にもあたっている。



加藤 知子 KATO Tomoko (新規委嘱)【日本】 ※予選・セミファイナル

桐朋学園大学教授。第7回チャイコフスキー国際コンクール第2位受賞。以来、国内はもとよりアメリカ、ヨーロッパ、南米、韓国、中国やモスクワ等、世界各地でオーケストラとの共演やリサイタル、室内楽に出演し、常に高い評価を受けている。ソロ活動、室内楽のほか、内外の音楽祭に参加するなど活躍している。



ヤンウク・キム Younguck KIM 【アメリカ】

ソウル国立大学音楽学部ヴァイオリン科主任教授。カラヤン、バーンスタイン、小澤征爾などの指揮で、多くの有名オーケストラと共演。アメリカでは、ほぼ全てのオーケストラと共演している。ザルツブルク、エディンバラ、タンゲルウッド等、多数の音楽祭にも出演。ソリスト、室内楽奏者として世界中の聴衆を魅了し続けている。



ギドン・クレメル Gidon KREMER (新規委嘱)【ラトビア】 ※ファイナル

輝かしいキャリアを持つヴァイオリニスト。カラヤン、バーンスタイン等、屈指の指揮者と共演。120枚以上のアルバムを発表し、グラミー賞、日本レコード・アカデミー大賞等、世界で数多くの賞を受賞。ロッケンハウス音楽祭の創設、クレメラータ・バルティカの結成など、旺盛な活動が高い評価を受ける。2001年ユネスコ国際音楽賞。



チョーリャン・リン Cho-Liang LIN 【アメリカ】

ジュリアード音楽院教授。ライス大学シェパード音楽学校教授。演奏の巧みさと演奏を特徴付ける楽才によって称賛されているヴァイオリニスト。世界各地のオーケストラと共演し、多くの音楽祭に出演。録音も数多く「グラモフォン・レコード・オブ・ザ・イヤー」を複数受賞。2000年ミュージカル・アメリカ「年間最優秀器楽奏者賞」。



レジス・パスキエ Régis PASQUIER (新規委嘱)【フランス】

わずか12歳でパリ国立高等音楽院を一等賞で卒業した経歴を持つ、才能溢れるヴァイオリニスト。世界各地の主要オーケストラと共演を重ね、室内楽奏者としても精力的に活動。録音も数多く、フランス音楽大賞を受賞するなど高い評価を得ている。他にも、シャルル・クロス賞、レコード・アカデミー賞など多くの受賞歴を持つ。



竹澤 恭子 TAKEZAWA Kyoko (新規委嘱)【日本】

1986年インディアナポリス国際ヴァイオリン・コンクール優勝以来、国際的スターダムを昇り続けている。ニューヨーク・フィル、シカゴ響、ロンドン響、コンセルトヘボウ管など世界の主要オーケストラと共演し、アスペン、ルツェルンといった音楽祭にも参加、国際コンクールの審査委員も数多く務める。第3回出光音楽賞受賞。

第6回仙台国際音楽コンクール審査委員【ピアノ部門】



野島 稔 NOJIMA Minoru / 審査委員長【日本】

東京音楽大学学長。桐朋学園大学院大学特任教授。日本を代表する国際的ピアニストの一人で、世界各地での演奏活動や録音が絶賛されている。ヴァン・クライバーン、エリーザベト等、多くの国際コンクールで審査委員を務め、2006年にはく野島稔・よすかピアノコンクールを創設し、若いピアニストの育成に尽力している。



植田 克己 UEDA Katsumi / 審査副委員長【日本】

東京藝術大学音楽学部教授。1977年ロン=ティボ=国際音楽コンクール第2位大賞受賞。日本、ヨーロッパ各地、中国などで演奏活動を展開。リサイタルを始め、N響、ベルリン響などオーケストラとの共演、一流演奏家との室内楽などで活躍している。ケルン、浜松、ジュネーヴなど多くの国際コンクールで審査委員を務める。



エリソ・ヴィルサラーゼ Elisso VIRSALADZE / 審査副委員長【ロシア】

モスクワ音楽院教授。ミュンヘン音楽大学教授。偉大なシューマン奏者の一人と称賛されると同時に、幅広いレパートリーを持つことで知られる。リサイタル活動に加え、コンドラシン、ムーティ、サヴァリツシュ、テミルカーノフ等の著名な指揮者のもと、世界の主要オーケストラと共演。著名な国際コンクール審査委員も務める。



アンドレア・ボナッタ Andrea BONATTA (新規委嘱)【イタリア】

ピアニスト、指揮者として世界中で演奏活動を行っている。ブゾーニ国際ピアノコンクールの審査委員長、リストコンクール(オランダ)の芸術監督をはじめ、クライバーン、ルビンシュタインなど多くの国際コンクールで審査委員を勤める。2014年からはザルツブルクのモーツァルテウム・アカデミーで客員教授にも就任。



ダン・タイ ソン DANG Thai son 【ベトナム】

1980年ショパン国際ピアノコンクールでアジア人として初の優勝。以来、世界40カ国以上でリサイタルや一流オーケストラとの共演を重ねている。現在は、モントリオール大学で教鞭を執り、数多くのマスタークラスを世界中で開催。ショパン、クリーヴランド、ルビンシュタインなど、権威ある国際コンクールで審査委員を務める。



リチャード・ダイヤー Richard DYER (新規委嘱)【アメリカ】

ポストン・グローブ紙で33年間、クラシック音楽の評論を掲載。際立った音楽評論家としてASCAPディームズ・テイラー賞を2回受賞。新聞社を退社後も、ピアノやオペラに対する深い造詣によって、ライター、教師、コンクール審査委員として活躍し、ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクールでは審査委員を2001年から4回務めている。



リュウ・シコン LIU Shih-Kun (新規委嘱)【中国】

世界的に著名な中国人ピアニスト。第1回チャイコフスキー国際コンクール第2位。コンドラシン、小澤征爾、マゼール等の指揮のもと、多くの一流オーケストラと共演。リスト、チャイコフスキー、クライバーンといった重要な国際コンクールで審査委員を勤める。北京中央音楽学院、上海音楽学院など中国各地の音楽学院の名誉教授。



エヴァ・ポブウォツカ Ewa POBŁOCKA 【ポーランド】

ポーランドが誇る偉大なピアニスト。録音の多くが受賞、評論家から絶賛されている。幅広いレパートリーを持ち、欧州諸国のほかアメリカ、オーストラリア、アジア各地の国際舞台で活躍。優れた教育家でもあり、フレデリック・ショパン音楽大学等で教鞭を執る他、ショパン、浜松など多くの国際コンクールで審査委員を務める。



マッティ・レカッリオ Matti RAEKALLIO (新規委嘱)【フィンランド】

ハノーファー音楽演劇大学教授。様々なチクルスに取り組み、数多くのピアノ協奏曲を演奏するなど、幅広いレパートリーを持つ。シベリウス音楽院、ストックホルム音楽大学、ジュリアード音楽院などの教授職を歴任し、後進の指導に力を注いできた。ルビンシュタイン、ジュネーヴなど多くの国際コンクールで審査委員を務める。



ブルーノ・リグット Bruno RIGUTTO (新規委嘱)【フランス】

パリ国立高等音楽院教授。フランスを代表する天才ピアニスト、サンソン・フランソワ唯一の弟子。これまで、マゼール、バーンスタイン、マズアなど、世界的に著名な指揮者と共演、室内楽にも情熱を傾け、録音は数々のディスク大賞を受賞。後進の指導にも長年取り組み、国際的に活躍する多くの若いソリストを育てている。



ミハエル・シェーファー Michael SCHÄFER (新規委嘱)【ドイツ】

ミュンヘン音楽演劇大学教授。最も多才なソリスト、室内楽奏者、そして歌の伴奏者として世界的な名声を得ている。ヴァンサン・ダンディのピアノ作品全集をはじめ、多くの録音が受賞、高い評価を受ける。後進の指導にも長年取り組み、国際コンクールで入賞するなど門下生の多くが世界各地で活躍している。

■第1回～5回入賞者

第1回	ヴァイオリン部門	第1位	ホアン・モンラ	中国
		第1位	スヴェトウリン・ルセフ	ブルガリア／フランス
		第3位	梁 美沙	韓国
		第4位	石橋 幸子	日本
		第5位	大宮 臨太郎	日本
		第6位	白井 圭	日本
	ピアノ部門	第1位	ジュゼッペ・アンダローロ	イタリア
		第2位	イ・チンサン	韓国
		第3位	ワン・ユジャ	中国
		第4位	ダリア・ラボトキナ	ロシア
		第5位	ロベルト・ブラノ	イタリア
	第5位	アミル・テベニヒン	カザフスタン	

第2回	ヴァイオリン部門	第1位	松山 冴花	日本
		第2位	マクシム・プリリンスキー	オーストリア
		第3位	チュウ・ダン	中国
		第4位	アンドレアス・ヤンケ	日本
		第5位	ヴァーリヤ・デルヴェンスカ	ブルガリア
		第6位	有紀・マヌエラ・ヤンケ	日本
	ピアノ部門	第1位	タン・シヤオタン	中国
		第2位	高田 匡隆	日本
		第3位	ミハイル・ナミロフスキー	イスラエル
		第4位	エリーザヴェータ・ドミートリエヴァ	ロシア
		第5位	ショーン・ケナード	アメリカ
	第6位	フロランス・ボワソル	フランス	

第3回	ヴァイオリン部門	第1位	アリョーナ・バーエワ	ロシア
		第2位	エリン・キーフ	アメリカ
		第3位	シン・アラ	韓国
		第4位	アンドレイ・バラノフ	ロシア
		第5位	千葉 清加	日本
		第6位	長尾 春花	日本
	ピアノ部門	第1位	津田 裕也	日本
		第2位	ルー・イチュ	台湾
		第3位	オクサナ・シェフチェンコ	ロシア
		第4位	イリヤ・オフチニコフ	ロシア
		第5位	リー・カリン・コリオン	中国
		第6位	ヴァーチェスラフ・グリャーズノフ	ロシア

第 4 回	ヴァイオリン部門	第 1 位	クララ・ジュミ・カン	ドイツ／韓国
		第 2 位	アンドレイ・バラーノフ	ロシア
		第 3 位	長尾 春花	日本
		第 4 位	キム・ボムソリ	韓国
		第 5 位	キム・デミ	韓国
		第 6 位	ジオラ・シュミット	アメリカ
	ピアノ部門	第 1 位	ヴァディム・ホロデンコ	ウクライナ
		第 2 位	マリア・マシチェフ	ロシア
		第 3 位	マリアンナ・プルジェヴァルスカヤ	スペイン
		第 3 位	佐藤 彦大	日本
		第 5 位	ムン・ジョン	韓国
		第 6 位	クワン・イ	アメリカ

第 5 回	ヴァイオリン部門	第 1 位	リチャード・リン	アメリカ / 台湾
		第 2 位	成田 達輝	日本
		第 3 位	富井 ちえり	日本
		第 4 位	アンナ・サフキナ	ロシア
		第 5 位	キム・ボムソリ	韓国
		第 6 位	スリマン・テカツリ	アメリカ
	ピアノ部門	第 1 位	ソヌ・イエゴン	韓国
		第 2 位	ソ・ヒョンミン	韓国
		第 3 位	アルテヨム・ヤスィンスキイ	ウクライナ
		第 4 位	ソナ・パク	アメリカ
		第 5 位	片田 愛理	日本
		第 6 位	ホン・ジファン	韓国

■過去の入賞者の活躍(国際音楽コンクールの入賞など)

<ヴァイオリン部門>

スヴェトリン・ルセフ(第1回ヴァイオリン部門第1位)

:パリ国立高等音楽院教授

:フランス国立放送フィルハーモニー管弦楽団ソロ・コンサートマスター

ホアン・モンラ(第1回ヴァイオリン部門第1位)

:上海音楽学院教授

:第49回バガニーニ国際ヴァイオリン・コンクール第1位(2002年)

石橋幸子(第1回ヴァイオリン部門第4位)

:ミュンヘン国際弦楽三重奏コンクール第1位(2012年)

白井圭(第1回ヴァイオリン部門第6位)

:第58回ミュンヘン国際音楽コンクール 第2位・聴衆賞(2009年)

松山冴花(第2回ヴァイオリン部門第1位)

:2005年エリーザベト王妃国際音楽コンクールヴァイオリン部門第4位(2005年)

アンドレアス・ヤンケ(第2回ヴァイオリン部門第4位)

:第1回ベンジャミン・ブリテン国際ヴァイオリン・コンクール第3位(2004年)

:第23回ロドルフォ・リピツァ賞国際ヴァイオリン・コンクール第2位(2004年)

:チューリッヒ・トーンハレ管弦楽団第1コンサートマスター

マクシム・プリリンスキー(第2回ヴァイオリン部門第2位)

:第1回ベンジャミン・ブリテン国際ヴァイオリン・コンクール第2位(2004年)

有希・マヌエラ・ヤンケ(第2回ヴァイオリン部門第6位)

:チャイコフスキー国際コンクール ヴァイオリン部門第3位(2007年)

:レオポルト・モーツァルト国際ヴァイオリン・コンクール第2位(2006年)

:第50回バガニーニ国際ヴァイオリン・コンクール第2位(1位なし最高位/2004年)

アリョーナ・パーエワ(第3回ヴァイオリン部門第1位)

:モスクワ国際バガニーニコンクール第1位(2004年)

:ヴィエニャフスキ国際ヴァイオリン・コンクール第1位(2001年)

:ロン・ティボー国際音楽コンクール審査委員(2014年)

エリン・キープ(第3回ヴァイオリン部門第2位)

:第5回ソウル国際音楽コンクール第3位(2009年)

:トルン国際ヴァイオリン・コンクール第1位(2007年)

:ミネソタ管弦楽団コンサートマスター

シン・アラー(第3回ヴァイオリン部門第3位)

:第5回ソウル国際音楽コンクール第5位(2009年)

:ジョルジュ・エネスク国際音楽コンクール第2位(2009年)

クララ・ジュミ・カン(第4回ヴァイオリン部門第1位)

:インディアナポリス国際ヴァイオリン・コンクール第1位(2010年)

アンドレイ・バラノフ(第4回ヴァイオリン部門第2位)

:エリーザベト王妃国際音楽コンクール第1位(2012年)

:第5回ソウル国際音楽コンクール第2位(2009年)

:アンリ・マルトー国際ヴァイオリン・コンクール第1位(2008年)

:ベンジャミン・ブリテン国際ヴァイオリン・コンクール第1位(2008年)

長尾 春花(第4回ヴァイオリン部門第3位)

:ロン・ティボー国際音楽コンクール第5位(2008年)

キム・ボムソリ(第4回ヴァイオリン部門第4位)

:中国国際ヴァイオリン・コンクール第1位(2011年)

:ミュンヘン国際音楽コンクール最高位(2013年)

キム・デミ(第4回ヴァイオリン部門第5位)

:ハノーファー国際ヴァイオリン・コンクール第1位(2012年)

:第53回バガニーニ国際ヴァイオリン・コンクール最高位(2010年)

<ピアノ部門>

ジュゼッペ・アンダローロ(第1回ピアノ部門第1位)

- : 香港国際ピアノ・コンクール第1位(2011)
- : 第55回フェルッチョ・ブゾーニ国際ピアノ・コンクール第1位(2005年)
- : ロンドン国際ピアノ・コンクール2002第1位(2002年)

イ・ジンサン(第1回ピアノ部門第2位)

- : 香港国際ピアノ・コンクール第1位(2008)
- : ケルン国際ピアノ・コンクール第1位(2005年)

ロベルト・プラノ(第1回ピアノ部門第5位)

- : AXA ダブリン国際ピアノ・コンクール第3位(2006年)
- : 第4回エスター・ホーネンズ国際ピアノ・コンクール第3位(2003年)
- : 第14回クリーヴランド国際ピアノ・コンクール第1位(2001年)

アミル・テベニヒン(第1回ピアノ部門第5位)

- : ジョルジュ・エネスク国際音楽コンクール第1位(2009年)
- : 第1回カール・ベヒシュタイン国際ピアノ・コンクール第2位(2006年)

タン・シヤオタン(第2回ピアノ部門第1位)

- : 北京中央音楽学院准教授

高田 匡隆(第2回ピアノ部門第2位)

- : モントリオール国際音楽コンクール第2位(2008年)
- : マリア・カラス大賞(2006年)

ミハイル・ナミロフスキー(第2回ピアノ部門第3位)

- : ルイジアナ国際ピアノ・コンクール第1位(2011年)

シヨーン・ケナード(第2回ピアノ部門第5位)

- : ルイス・シガール国際音楽コンクール第1位(2007年)

津田 裕也(第3回ピアノ部門第1位)

- : 東京藝術大学非常勤講師

ルー・イチユ(第3回ピアノ部門第2位)

- : アラド国際ベートーヴェンピアノコンクール第2位(2007年)

オクサナ・シェフチェンコ(第3回ピアノ部門第3位)

- : スコティッシュ国際ピアノ・コンクール第1位(2010年)
- : 第57回ブゾーニ国際ピアノ・コンクール第3位(2009年)
- : 第5回中国上海国際ピアノ・コンクール第3位(2009年)

ヴァディム・ホロデンコ(第4回ピアノ部門第1位)

- : シューベルト国際ピアノ・コンクール第1位(2011年)
- : ヴァン・クライバーン国際ピアノ・コンクール第1位(2013年)

マリア・マシチュワ(第4回ピアノ部門第2位)

- : 第65回ジュネーヴ国際音楽コンクール第2位(2010年)

マリアンナ・ブルジェヴァルスカヤ(第4回ピアノ部門第3位)

- : ハエン国際ピアノ・コンクール第1位(2011年)
- : ベルデ国際ピアノ・コンクール第1位(2011年)
- : マリアカナルス国際ピアノ・コンクール第1位(2011年)

佐藤 彦大(第4回ピアノ部門第3位)

- : "San Nicola di Bari"国際ピアノ・コンクール第1位(2011年)

アルテヨム・ヤスィンスキイ(第5回ピアノ部門第3位)

- : The Cincinnati World Piano Competition(2015年)